



智能啓發

後期スタート!

10月15日(火)、後期がスタートしました。始業式では、後期の目標づくりに、前期の振り返りを活かしてほしいことを話しました。特に、前期の振り返りの発表をした佐藤さんと須藤さんの頑張りやすばらしさについてふれながら、二人の発表者の「全力・楽しむ・挑戦・他の人にも喜んでもらう・手本となる姿をめざす」をキーワードとして、自分だけではなく友達から学ぶ気持ちも大事にしたいと伝えました。後期も、あすなる発表会、創立150周年記念式典、卒業式など、家族や地域の方に子どもたちを見ていただく機会がたくさんあります。子どもたちの一生懸命な姿を見ていただければ嬉しいです。励ましや応援の言葉を、どうぞよろしくお願いいたします。



児童会認証式

後期始業式の後、後期児童会認証式を行いました。運営委員(6年4名、5年8名)と各委員会委員長(6年5名)、各学級委員(3～6年



計24名)を紹介し、代表児童に認証状を渡しました。運営委員代表、委員会代表、学級委員代表で認証状を受け取った6年生の澤井〇さん、佐々木〇さん、池田〇〇さんは、西目小学校をさらによりよい学校にしていくために、リーダーとして頑張る決意を述べました。

【運営委員】

6松	佐々木〇〇〇	澤井 〇	石川 〇〇	川井 〇〇
5松	齋藤 〇〇	佐々木〇〇	佐藤 〇〇	鷹島〇〇〇
5竹	阿部 〇〇	大友 〇〇	佐々木〇〇〇	辻 〇〇

【各委員会 ◎委員長 ○副委員長】

運営委員	◎6松 佐々木〇〇〇	○6松 澤井 〇
放送委員	◎6松 伊庭〇〇〇	○6松 小助川〇〇
保健体育委員	◎6松 柳橋 〇〇	○6松 葛西 〇〇
図書委員	◎6松 中野〇〇〇	○6松 伊藤 〇〇
ボランティア委員	◎6松 佐々木 〇	○6松 齋藤 〇〇
給食委員	◎6松 伊藤 〇〇	○6松 齋藤 〇〇

【学級委員】

3松	加川 〇〇	佐藤 〇	佐藤 〇〇	高橋 〇〇
4松	佐々木〇〇	鈴木 〇〇	鷹島 〇〇	三浦 〇〇
4竹	齋藤 〇〇	佐藤 〇〇	佐藤 〇	柳橋 〇〇
5松	阿部 〇〇	佐々木〇〇	佐々木〇〇	平尾 〇〇
5竹	阿部 〇〇	釜台 〇〇	佐藤 〇〇	茂木 〇〇
6松	池田 〇〇	佐々木〇〇	高橋 〇〇	柳橋 〇

校長のあいさつでは、最初に、前期リーダーの皆さんへのお礼と、後期リーダーにお祝いの言葉を述べました。そして、後期のリーダーへ、「どんな学校を目指すのか、どんな学級を目指すのか」、そのために、「どんな取組をすればよいのか」についてしっかりと考え、実行してほしいことを伝えました。さらに、全校のみんなが一致団結して取り組み、子どもも大人も、地域の人も大好きと思える西目小学校を全員で目指していこうと呼びかけました。



プラネタリウム鑑賞

10月3日(木)、科学クラブが、由利本荘市理科教育センター(カダーレ内)でプラネタリウムの鑑賞をしました。センターの担当の方から星に関する様々な説明を聞き、星に対する興味・関心が高まりました。寝転がり、実際の夜空さながらのプラネタリウムの鑑賞をしたときは、美しさに歓声も上がりました。星空の美しさや宇宙の不思議を感じた人、星に興味をもち進んで観察しようと考えた人など、様々な感想をもったようでした。

秋の夜長に、星空を眺めてみるのも心が落ち着いていいかもしれませんね。



障害理解教室

10月4日(金)、4年生が、県視覚障害者福祉協会の高橋さんに来ていただき、「見えない世界を見てみよう」というテーマで、障害理解教室を行いました。「視覚障害とは」「視覚障害者の日常における工夫(用具も紹介)」「歩行体験」「ブラインドテニス・卓球体験」など、多くの



体験活動も組み合わせて学習しました。普段何気なく自分たちが行動している一つ一つが、視覚障害をもっている方には簡単ではないこと、障害があっても運動など楽しいことがたくさんできること、障害のある方に配慮した生活をしていきたいなど、様々な感想がみられました。

由利工業見学

10月7日(月)、5年生が、最先端の電子部品を造っている地元の由利工業を訪問しました。総合的な学習の時間で、西目の産業について調べる学習の一環です。製品や業務内容について説明していただいた後で、実際に工場を見学しました。由利工業は、「ものづくり」を通して、人、地域社会、地球に必要なとされる企業を目指しているそうです。

子どもたちは、普段見ることのできない工場の様子を見て驚くとともに、「西目にこんなに素晴らしい企業があることが嬉しい。」「自分も地域のために働く人になりたい。」などの感想をもったようでした。



りんご葉摘み・玉回し

10月9日(水)、3年生:「ぼくらりんご育て隊」が、今回はりんごの葉摘みと玉回しに挑戦しました。すっかりおなじみの大森台りんご園で、りんご先生の齋藤さんから作業の意味ややり方を教わりました。「葉摘み」は、多すぎる葉っぱを摘むことで、日光がりんごによく当たり、りんごの色が赤く美味しそうになるのだそうです。「玉回し」は、りんごを回すことで、まんべんなくりんごが色づくのだそうです。今回は、りんごを回しただけの部分に自分たちが考えた形のシールを貼ってきました。そこだけ(うまくいけば)白く残ります。



次の体験はいよいよ収穫です。子どもたちは、「自分の考えた模様がりんごにつくのが楽しみ。」「次の収穫体験が楽しみ。」と、とても待ち遠しい様子でした。